## 南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 口 新規 図 継続 . \_\_\_ ( 事務・繰出金 組織運営 管理用) \_\_\_\_

I 基本事項								75		
事業名	介護保険特別会計サービス事業勘定繰			予	会計	一般会				
尹 未 口	出金				款	民生費	1・3款			
担当部課名	健康福祉部 長寿福祉課			科	項	社会福	土会福祉費·1項			
電話	0799	9 - 44 - 3005		目	目	介護保	険運営	費·10	目	
事業分類		義務的(法定)事務	法的根拠	见						,
争未刀恕	>	任意的(自治)事務	要綱等)							
まちづくりの柱			安らぎづくり元気あふれ住んで快適なまちづくり							
南あわじ市総合		まちづくりの目標	延ばせ健康寿命【健康】							
施策体系	施策目標		健康増進や予防などに関する意識を高め、信頼性の高い医療・							
旭垛口标			救急医療が受けられる仕組みを整える							
該当する	事務繰出		組約	哉運営		Î	<b>管理</b>			

$\underline{\mathbb{I}}$	Plan	(計画・事務内容)	
		<b>対 象</b> (誰を・どのような状況の人を)	
		要介護状態又は要支援状態にある高齢者	対象人数(人)
			15
	目	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的	
	的	社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精験がある。	情神的負担の
		軽減を 図る。	
		ଘଟି	
事			
務又は管理		要介護者等の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を	営むことが
₩ は	実	できるよう、入浴、排泄、食事の介護等、日常生活上必要な世話及び機能訓	練を行な
管	施内	う。	
理	M   容		
の内			
容			
	=	(具体的に実施した事務又は管理の内容など)	> h⊓ T⊞ <del>`//</del> 7 l'
	事 務	毎月の通所介護利用者の介護サービス利用分の1割分である自己負担金の に毎月国保連合会から支払われる通所介護・予防通所介護収入の処理。	)処埋业ひ
	翌	に 毎月 国体 建 日 名が	
	は		
	管理		
	理の		
	内		
	容		
		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
合	╙	旧緑町 🔽 旧西淡町 🔲 旧三原町 🔲 旧南淡町 🔲 旧広域事務組合 🔲 🥫	新市から
合併協議			
協			
連			
務調整内容			
整			
H			

## Ⅲ Do (活動内容、投入資源・コスト)

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費 (千円)	16,178	10,050	11,155	11,657	9,716
	介護保険特別会計サービス事業勘定繰出金	16,178	10,050	11,155	11,657	9,716
資						
源						
配分	財源(千円)					
分	財源 (千円)   国					
7						
ン						
プ	その他					
ッ	一般財源[A]	16,178	10,050	11,155	11,657	9,716
<b> </b>	人件費(正規職員)[B] (千円)	2,392	2,408	2,232	2,256	2,256
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)	80	80	80	80	80
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	18,570	· ·	13,387	13,913	11,972
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	1,238,000.0	830,533.3	892,466.7	927,533.3	798,133.3
	経費に関する					
	補足説明   					

<u>IV</u>	Check(事業(	<u> </u>	<u> 3評価・一</u>	· <u>次評価、</u>	<u>コスト分析</u>	T <i>)</i>		
事		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
務	直接事業費対前年度増減率	%	-	37.9	11.0	4.5	16.7	
菜	(事務又は管理経費に係る問題点・課題等)							
は	施設老朽化に伴う	修繕費	用の増加が懸っ	念される。			(5]	
管							点評	
理経								
費							3	
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	人件費対前年度増減率	%	-	99.3	107.9	98.9	100.0	
	(人件費に係る問題点・課題等)							
人件								
<b>一声</b> がこれでいるが、途中の手来の大脑と切り内のドラかにものができた。							かにも 点評 し価	
	かたよっているため、実際の利用客も一部の地域にかぎられている。							
							3	
	白己証価を	ふキラ	た現状分析					
	伊加利デイサービ			1+7	_		)	
	は、事業運営費を賄				ā	平価グラフ		
	後も一般会計からの				_			
総				5				
合評				4				
評				3				
価								
				C				
					直接事務實	人件	費	

V Action&Plan(改善の内容)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
	<ul><li>☑ 現状維持</li><li>□ 予算削減</li><li>□ 業務改善</li><li>□ 人員配置の見直し</li></ul>	<ul><li>☑ 現状維持</li><li>☑ 予算削減</li><li>☑ 業務改善</li><li>☑ 人員配置の見直し</li></ul>
今後の方向性とその理力	現在の利用市民等からの存続要望は強く必要な施設であるため、今後とも管理運営に係る経費節減、事業の効率化に努めるとともに、親切、丁寧、きめ細やかなサービスの実施によって利用者増を目指す。	同左。
由		
	事務又は管理経費に関すること	事務又は管理経費に関すること
<b>具</b> 体		
的		
改善		
な改善方法		
	//- ## /- BB	/4-#b
現 維:	人件費に関すること	人件費に関すること
維 持		
以 外		
の		
場合)		